

令和 6 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	A事業所のみを有する特定事業者
II 類	B事業所を有する特定事業者(III 類の事業者を除く)
III 類	C事業所を有する特定事業者
IV 類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名			中原建設株式会社	
所在地			埼玉県川口市柳崎 5 丁目 2 番 3 3 号	
事業者番号			4024	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)			393	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で 1,500KL 未満で延床 面積 10,000m ² 以上の事業所)				m ²
産業分類名 (中分類)			06 総合工事業	
分類番号 (中分類)			06	
事業活動の概要	事業内容		土木工事業、アスファルト合材製造販売 再生骨材製造販売	
	区分		企業	
	前年度	資本金	98	百万円
		従業員数	115	人
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)				

（３）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所 種別	事業所 番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量 (kL)
A、Bテナント等事業所			
A	402400	中原建設株式会社	393
B、C事業所			
合 計			393

（４）公表方法

○	インターネット利用による公表	ア ド レ ス	http://www.nakahara-kensetsu.co.jp
○	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合は別様としてください)	閲 覧 場 所 1	本社 1階受付
		所 在 地 1	埼玉県川口市柳崎5-2-33
		閲 覧 可 能 時 間 1	9時から17時（土日祝祭日は除く）
		閲 覧 場 所 2	
		所 在 地 2	
		閲 覧 可 能 時 間 2	
	その他		

（５）公表の担当部署

名 称 (複数可)		連 絡 先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	経営企画グループ	048-269-3310	
2			
3			

※ 事業者のアドレスとする(個人が特定できるアドレスは記入しないこと)

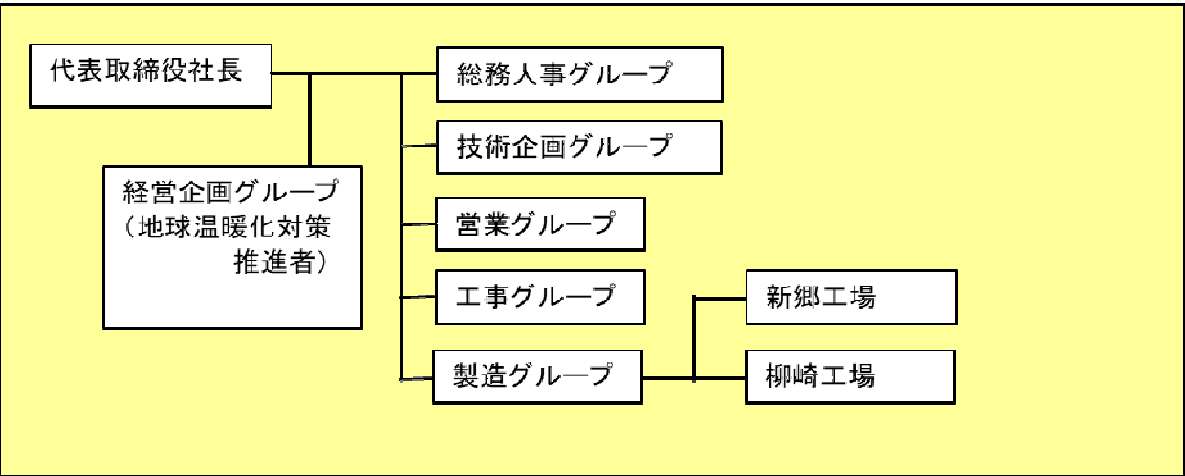
（６）（Ⅳ類（任意事業者）のみ記入）県による公表の可否

県による報告書の公表を希望	する
---------------	----

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

別紙、環境方針の通り

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	756	807	789	773	
そ の 他 ガ ス					
温 室 効 果 ガ ス の 計 合	756	807	789	773	

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

環 境 方 針

私たちは企業人である前に、ここ（注１）で暮らす一人の人間として、豊かな未来の環境のために、できることから取り組みたいと感じています。

私たちは企業として、土木工事を中心にした構造物やアスファルト合材、再生骨材などの製品と、建設廃材のリサイクルなどのサービスを社会に提供しています。

そして、私たちはそれらの企業活動が、未来への持続可能な社会づくりに常に大きく影響を及ぼす活動であることを自覚しています。

豊かな未来の環境のために、私たちは一人の人間としての思いを起点とし、組織の力で未来への持続可能な社会づくりに以下の通り取り組んでいくことを宣言します。

（注１） ここでは、「私たちの地域」、「国」、「地球」すべてを総称した意味

1. 当社の企業活動におけるすべての領域で、環境マネジメントシステムを構築し、そのシステムの継続的な改善のために毎年レビューを行っていきます。
2. 持続可能な社会づくりにむけて、省資源化の推進、汚染の防止に取り組みます。
3. 当社の企業活動における関係法令、当社が同意した利害関係者との契約を遵守します。
4. 環境目的及び目標の設定、レビューのための枠組みとして次の点を重点課題とします。
 - （１）省エネルギーの推進
 - （２）廃棄物の減量
 - （３）リサイクルの推進
 - （４）CO₂の削減

本環境方針は社内及び協力業者においてはその周知と理解に努め、社外においては公表された情報として取り扱います。

制定 2006年4月6日

代表取締役社長 中原 誠

令和 6 年度

事業者番号 4024 事業所番号 402400

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	
A	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	中原建設株式会社	前年度における事業所数	6
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村 川口市		
	字 ・ 地 番 柳崎5-2-33		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産 業 分 類 名 (中 分 類)	06 総合工事業		
分 類 番 号 (中 分 類)	06		
事 業 活 動 の 概 要	土木工事業、アスファルト合材製造販売 再生骨材製造販売 従業員 115名 資本金 98百万円		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間	2	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量 735	t-CO2	基準となる 原 単 位	t-CO2/千万円/年
	その他ガス	令和元年度を基準(735 t-CO2)として、令和6年度末までに1% (7 t-co2) 削減します。			

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間	7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量	t-CO2	基準となる 原 単 位	
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	中原建設株式会社	川口市柳崎 5-2-33
2	新郷工場	川口市本蓮4-1-18
3	柳崎工場	川口市柳崎1-15-8
4	さいたま支店	さいたま市緑区大門1985-1
5	第2工場	川口市江戸袋2-4-18
6	大門事業所	さいたま市緑区大門1985-1
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
	385	410	401	393	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	基準 735	756	807	789	773	
	前 年 度 比 （ % ）	—	6.7	-2.2	-2.0	
	基準となる排出量に対する 削 減 率 （ % ）	-2.9	-9.8	-7.3	-5.2	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 室 素					
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 室 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		756	807	789	773	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基準	1.9485	1.6270	1.5291	1.4585	
	前 年 度 比 （ % ）	—	-16.5	-6.0	-4.6	
	基準となる原単位に対する削減率 (%)					
活 動 規 模 の 指 標	単 位					
売上高	千万円/年	388.00	496.00	516.00	530.00	

（４）エネルギー起源ＣＯ₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 (2020年度)	・夏場は扇風機も活用し、エアコンの稼働を抑えた。 ・令和３年１月に屋上遮熱防水塗装工事及び遮熱フィルム貼替工事をしたことで、室内の冷暖房効果が上がり省エネへと繋げることで、ＣＯ₂等の削減に貢献した。 ・コピー機のリース更新時に、省エネ機能付きのコピー機に変更した。 ・水曜日をノー残業デーとし、電力消費を抑えた。 ・休憩時及び不要時の照明を消灯し、電力消費を抑えた。 ・しかし、コロナウイルス感染拡大防止のため年間を通じて換気を一日に数回行っていた。そのため冷暖房の電気使用量が増加し、結果として相殺するとCO2排出量が増加してしまった。
令和３年度 (2021年度)	・夏場は扇風機も活用し、エアコンの稼働を抑えた。 ・コピー機のリース更新時に、省エネ機能付きのコピー機に変更した。 ・水曜日をノー残業デーとし、電力消費を抑えた。 ・休憩時及び不要時の照明を消灯し、電力消費を抑えた。 ・売上高増加に伴い、現場での使用電力量が前年比約4.4万Kwが増えてしまった。 ・工場での電力使用量も前年比約5.6万Kw増えてしまった。工場設備老朽化に伴い、修理及び手戻りが発生し売上高に反映はされないが、稼働時間が増えたことが大きな要因となる。
令和４年度 (2022年度)	・夏場は扇風機も活用し、エアコンの稼働を抑えた。 ・引き続き、クールビズ、フォームビズを採用し空調管理に配慮した。 ・水曜日をノー残業デーとし、電力消費を抑えた。 ・売上高増加に伴い、現場での使用電力量が前年比約1.0万Kwが増えてしまった。しかしながら、社内での節電意識も浸透し、全体としては、前年比3.6万KWの削減を図れた。 ・工場での電力使用量もほぼ前年並みとなった。依然として設備老朽化に伴い修理時間も発生している。
令和５年度 (2023年度)	・夏場は扇風機も活用し、エアコンの稼働を抑えた。 ・引き続き、クールビズ、フォームビズを採用し空調管理に配慮した。 ・水曜日をノー残業デーとし、電力消費を抑えた。 ・2024年問題を控え、働き方改革を実現。建設DXを加速させ、社員の時間外労働時間を削減できた。社員総数の1年間の総時間外労働は前年と比べ3733時間削減できた。これに伴い電力使用量も3.1万Kwを減少させることができた。
令和６年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	節電の啓蒙活動 H18～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
2	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	電気、ガス使用量の把握、管理 H18～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
3	130100	空調調和設備・換気設備	13_空調調和の運転管理	空調温度管理、冷房28度暖房20度の励行 H18～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	不要時、不在時の消灯励行 H18～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
5	180200	その他	18_その他	老朽部品の交換、節電効果のある部品への交換 H23～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
6	130200	空調調和設備・換気設備	13_空調調和設備の効率管理	扇風機を用いて冷房空調の停止 H23～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
7	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯の間引き H23～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
8	140200	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給排水設備の管理	トイレに擬音装置を設置 H5～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
9	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	省エネ型の自動販売機の設置 H22～R3実施 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価
(※希望者のみ記載)

A事業所

自由記述欄